

2024 年度 最終 1 月京大本番レベル模試 地理探究 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I

問(1)イ 1 点 ○エスチュアリー／エスチュアリ／三角江

問(2) 4 点

光合成で二酸化炭素を吸収する植物や、それを餌とする家畜の糞尿から作られるため。

【加点ポイント】

<2 点> 【バイオマスエネルギーの具体例】

○植物／樹木／間伐材／薪炭材／家畜（動物）の糞尿 →2 点

<2 点> 【燃焼しても二酸化炭素濃度を増加させない理由】

○（植物は）生育時の光合成で二酸化炭素を吸収している  
／植物の生育時の二酸化炭素吸収量で相殺される →2 点

△「(家畜は) 植物を餌としている」のみ →1 点

問(3)② 2 点

地下水の過剰な取水で地盤沈下が進んだ。

【加点ポイント】（※問(3)①の可否は問わない。）

①<1 点> 【水没の原因】

○地盤沈下／土地の沈降 →1 点

②<1 点> 【①の人為的要因】

○地下水の過剰取水／地下水の汲み上げ／地下水の利用 →1 点

問(3)③ 4 点

C の首都機能を、人口が希薄で、地震の多い海溝から離れたカリマンタン島へ移転する。

【加点ポイント】

①<2 点> 【プロジェクトの内容】

○首都機能の移転／首都を移す／遷都 →2 点

②<1 点> 【移転先】

○カリマンタン島／ボルネオ島／ヌサンタラ →1 点

(次ページへ続く)

③<1 点> 【②の利点】

- (カリマンタン島は) 地震が少ない／震源となる海溝 (スンダ海溝) から離れている
  - (ジャワ島は) 地震が多い／震源となる海溝に近い
- } いずれかで○1 点

問(4) 2 点

温室効果が高く, 地球温暖化がさらに進む。

【加点ポイント】

①<1 点> 【メタンの性質】

- 温室効果が高い／温暖化係数が高い／温室効果ガスである →1 点

②<1 点> 【①の影響】

- 地球温暖化がさらに進む／温暖化を加速させる／温暖化が進む →1 点

Ⅱ

問(1)ウ 1 点 ○切り花／花卉

問(2)② 3 点

海外からの融資で工業化を進めた結果, 累積債務が増えた。

【加点ポイント】

①<2 点> 【抱えた問題】

- 累積債務／対外債務が増えた／債務の元金・利子の返済が困難になった →2 点
- △ 「財政が苦しくなった／経済危機に陥った」のみ →1 点

②<1 点> 【①の背景】

- 海外からの融資で工業化を進めた／工業化を外国からの借金で進めた →1 点

問(4)① 3 点

プレート境界の地殻変動で, 海底が海水とともに隆起して内陸に取り残されたため。

【加点ポイント】

①<2 点> 【海水が存在する理由】

- 海底が隆起した／元々は海底であった →2 点

②<1 点> 【①の要因】

- 地殻変動／造山活動／プレート同士が衝突して山脈 (高地) ができた →1 点

問(4)② 2 点

熱帯収束帯 (赤道低圧帯) が南下して雨季を迎える 1 月頃。

【加点ポイント】

①<1 点> 【塩原に水が張る時期】

- 1 月頃 →1 点

(次ページへ続く)

②<1 点> 【①の理由】

- 熱帯収束帯（赤道低圧帯）が南下してくる／熱帯収束帯（赤道低圧帯）の影響を受ける →1 点  
×「雨季となる」「夏に雨が降る」のみ

問(6) 2 点

沖合をペルー海流が北上し、海水温が低い状態が続くから。

【加点ポイント】

①<1 点> 【海水温の状態】

- 海水温が低い／海水が冷たい →1 点

②<1 点> 【①の理由】

- 沖合をペルー海流が北上する／寒流が流れる →1 点

Ⅲ

問(3)理由 1（理由 2 と順不同可） 2 点

高度経済成長期に工業化が進展し大都市圏に人口が流入したため。

【加点ポイント】

①<1 点> 【人口上位都市の特徴】

- 大都市圏／大都市／三大都市圏／太平洋ベルトの都市 →1 点

②<1 点> 【①の背景】

- 高度経済成長／工業化の進展／第二次産業の発展／重厚長大産業の発達 →1 点

問(3)理由 2（理由 1 と順不同可） 2 点

ドーナツ化現象により、大都市周辺部に住宅都市が発達したため。

【加点ポイント】

①<1 点> 【人口上位都市の特徴】

- 大都市（都心）周辺部／大都市の郊外 →1 点

②<1 点> 【①の背景】

- ドーナツ化現象／都心部の地価高騰／都心部の生活環境の悪化  
／住宅都市（ベッドタウン／ニュータウン）の発達 →1 点

問(4)① 2 点

経済のグローバル化により諸機能の東京一極集中が強まったため。

【加点ポイント】

①<1 点> 【関東地方の理由】

- 東京一極集中が強まった／東京の世界都市化／東京に中枢管理機能が集中 →1 点

②<1 点> 【①の背景】

- 経済のグローバル化／日本のサービス経済化／情報産業の発達 →1 点

問(4)② 2 点

産業構造の転換やサービス業の成長が遅れ経済が停滞したため。

【加点ポイント】

①<1 点> 【近畿圏の理由】

○経済の停滞／雇用の伸び悩み →1 点

②<1 点> 【①の背景】

○産業構造転換の遅れ／工業（製造業）の低迷  
／サービス業（第三次産業／新しい産業）の成長の遅れ／本社機能の東京移転 →1 点

問(6) 4 点

地方中枢都市と呼ばれる広域の中心都市で、人口増減率と昼夜間人口比率が高く、商業やサービス業中心で製造業の地位は低い。

【加点ポイント】

①<2 点> 【都市の性格】

○地方中枢都市／地方中心都市／広域中心都市／地方の中核となる都市 →2 点

②<1 点> 【人口の特徴】

○人口増減率が高い／人口が増加している／昼夜間人口比率が高い／昼間人口が多い →1 点

③<1 点> 【産業の特徴】

○商業（サービス業／第三次産業／卸売業）が盛ん  
／製造業（工業）の地位が低い（盛んではない） →1 点

#### Ⅳ

問(4) 4 点

海水温の上昇で湧昇流が弱まり、表層の栄養塩が不足してプランクトンが減少するため。

【加点ポイント】

<4 点（1 点×4）> 【魚介類が減少する要因】

○海水温が上がる／暖水が留まる →1 点

○湧昇流が弱まる／寒流が弱まる →1 点

○表層（海水面）の栄養塩（栄養塩類／栄養分）が不足する／海底の栄養塩が上昇しない →1 点

○プランクトンが減少する →1 点

問(5)② 3 点

武力勢力の資金源となり、紛争を助長する鉱産資源。

【加点ポイント】

①<2 点> 【紛争鉱物の意味】

○紛争（戦争／内戦など）を助長する鉱産資源／紛争を長期化（拡大）させる鉱物 →2 点

（次ページへ続く）

②<1 点> 【①の理由】

○武装勢力（反政府組織／テロ組織など）の資金源となる（武器の調達などに使われる） →1 点

問(7)（市場の観点） 2 点

国内は人口が少なく、海外は遠いため市場に限界がある。

【加点ポイント】

<2 点（1 点×2）> 【市場の観点】

○国内市場が小さい／人口が少ない →1 点

○海外市場が遠い／欧米などの大市場から遠い／南半球なので大市場から遠い →1 点

問(7)（労働力の観点） 2 点

国内の労働力が不足するうえ、賃金水準が高い。

【加点ポイント】

<2 点（1 点×2）> 【労働力の観点】

○国内の労働力が少ない（労働力不足）／国内の労働人口が少ない →1 点

○賃金水準が高い／（人件費が高いため）海外の工業製品の方が安価となる →1 点

Ⅴ

問(1) 2 点

主曲線が 20m 間隔であるから（植生界が実線で示されているから）、5 万分の 1 地形図である。

【加点ポイント】

①<1 点> 【縮尺】

○5 万分の 1 / 50000 分の 1 / 「1 / 50000」 →1 点（※「5 万分の 1」と分かれば可）

②<1 点> 【①の判断理由】

○主曲線が 20m 間隔／計曲線が 100m 間隔／植生界が実線

×等高線が 20m（100m）間隔

問(2) 2 点

長方形の農地が規則的に並んでいる。

【加点ポイント】

<2 点> 【圃場整備の区画の特徴】

○農地が長方形（方形）／農地が規則的に並ぶ

／道路（農道）が直交する（直線的である）／道路が碁盤目状 →2 点

問(3) 7 点

扇状地の扇央に位置し、河川は伏流して水無川となっており、水が得にくく開墾が遅れていたが、現在は果樹園に利用されている。

【加点ポイント】

①<2 点> 【地形の名称】

○扇状地／扇央 →2 点

②<2 点> 【河川の状況】

○伏流している／水無川である →2 点

③<2 点> 【農業的土地利用】

○果樹園 →2 点

④<1 点> 【③の背景】

○水が得にくい／地下水位が低い（深い）／水はけが良い →1 点

問(4) 3 点

農家戸数や事業所数は少ないが、生産性が高く、出荷額が大きい。

【加点ポイント】

<3 点 (1 点×3) > 【農業と工業の共通点】

○農家戸数と事業所数は少ない／経営主体が少ない →1 点

○出荷額が大きい／農業産出額と工業製品出荷額が大きい→1 点

○生産性が高い／付加価値が高い／高価なものを生産している →1 点

問(5) 6 点

A の東京は、早くから路線が開かれ乗客も多かったが、山形新幹線が開通したことで乗降客数の減少が著しい。

【加点ポイント】

①<2 点> 【東京便について】

○（東京便は）A →2 点

★以下②③の加点は①「A」の加点を前提とする。

②<2 点 (1 点×2) > 【A の変化の特徴】

○（早くから／1990 年まで）乗客が多かった →1 点

○（1995 年以降は）乗客が減少した →1 点

③<2 点> 【減少の原因】

○山形新幹線の開通 →2 点

△「新幹線／東北新幹線」の開通 →1 点